

賊何人連歌

信

あはれふかきやうをいふしる満り

あはれをいふしるやうをいふしる満り

あはれをいふしるやうをいふしる満り

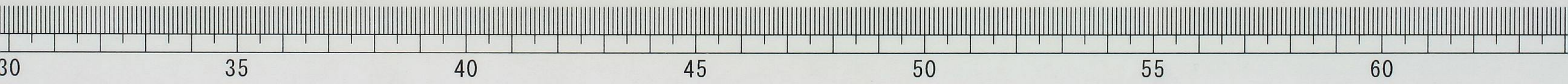
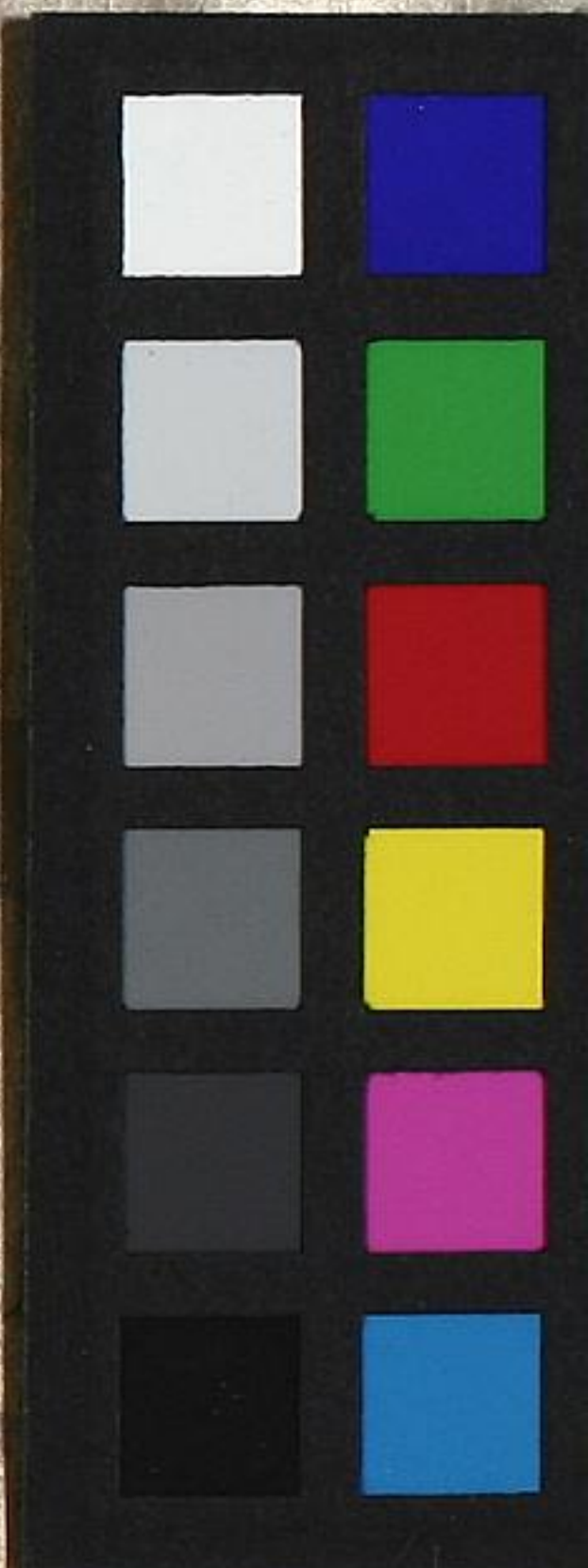
あはれをいふしるやうをいふしる満り

あはれをいふしるやうをいふしる満り

あはれをいふしるやうをいふしる満り

あはれをいふしるやうをいふしる満り

あはれをいふしるやうをいふしる満り



律乃野つゝおらさしあつる  
高岡

さきつゝのつゝく日るる  
帆葉

ちよみよひまふおのこつて  
回信

名は乃遠る方より入るる  
政願

うきつゝいりまも甚儀乃浪  
結愛

うきつゝ一社の為事やうき  
連吉

名端らうらうきささく  
法元

雅しんんん世の所乃ら  
素

ありしつゝいりまも  
長虎

平端つゝ乃よと  
高岡

さしあつていりまも  
政願

くさつてつゝ開金乃鳥  
信

あつてつゝいりまも  
連吉

あつてつゝいりまも  
結愛

佛の園たらうき  
素

佛の園まらまらをさくくわ  
素宗

東行のいせりもいぬりて  
法光

わさささささ物年れ賢  
高岡

行まらさ馬の巻乃永  
長尾

まらささささく持持り  
信

茂らささささあああ  
波殿

まらさささささささ  
徳宗

及らさささささささ  
高司

本の人れささ玉ささ乃月  
長尾

まらさささささささ  
素宗

いほさささささささ  
信光

請乃まらささささ  
高岡

まらさささささささ  
高岡

まらさささささささ  
信

まらささささささ  
高岡

まらささささささ  
信

毎乃らん名れ神乃あは  
政願

婦月をまゝの居れらり  
後蒙

位うのたあるるあまの  
家周

のまのしほの火を音絶て  
長虎

ちるあまの  
信

のまのしほの火を音絶て  
連句

うら  
意

人由  
政願

某ら  
長虎

人由  
信

あまの  
後蒙

灯  
信

床  
政願

あまの  
家周

布  
信

布部野

儀

正生

うき

書

清

葉

うら

葉

鷺

鳥

旅

高

私

儀

鳴

以

うき

書

臺

葉

津

系

が

信

と

葉

ふ

葉

ふたつはくわいしんりくくわいしんりく  
葉

あつちのうらなひのうらなひ  
あつち

かきかきかきかきかき  
あつち

さかきさかきさかき  
あつち

あつちあつちあつち  
あつち

あつちあつちあつち  
あつち

あつちあつちあつち  
あつち

あつちあつちあつち  
あつち

あつちあつちあつち  
あつち

あつちあつちあつち  
あつち

あつちあつちあつち  
あつち

あつちあつちあつち  
あつち

あつちあつちあつち  
あつち

あつちあつちあつち  
あつち

うんくわん (くら) 我の民 政願

くらくわん (くら) 友乃維 (比) 家同

名

家波 (くら) ちる (比) 信 (くら) 信

解 (くら) 後 (くら) ぬ (くら) 業

地 (くら) 船 (くら) せ (くら) ぬ (くら) 業

地 (くら) の (くら) ぬ (くら) 業

き (くら) も (くら) ぬ (くら) 業

く (くら) ら (くら) ぬ (くら) 業

ぬ (くら) ら (くら) ぬ (くら) 業

牛 (くら) 奴 (くら) ぬ (くら) 業

ゆ (くら) ら (くら) ぬ (くら) 業

ぬ (くら) ら (くら) ぬ (くら) 業

ら (くら) ら (くら) ぬ (くら) 業

い (くら) ら (くら) ぬ (くら) 業

ゆ (くら) ら (くら) ぬ (くら) 業

約らるや朽の事のみかたなり相  
素

目くく乃端比る清く  
松葉

向ふやとあて休るぬ 門の素  
政願

うらむとせしむるや入 扇  
青

よふのよき年ら内 寝  
清光

能ゆしくも 河の松流  
素

稀ありしふるの素やあつらん  
扇

毒の候し 扇の日のみ  
松葉

時してらと白雲や花の信  
信

しとをあらことと名の川 浪  
長流

信十句

素扇十一

政願十二

長流十二

松葉十三

扇十四

連句十一

松葉一

清光十一

信

河をら枕をらくかああり那



う  
可なりとて休む 門のま 西殿

うらやましくも 中へ 菊 信

ふらふらと 内 信

神ゆきとも 河 信

稀ありし 家のま 菊

毒の後 庭の日 信

時して 白雲や 信

とらとあこと 名の川 信

信十の句

景南十一

西殿十二

長池十二

信十の句

菊十の句

信十の句

信十の句

信十の句

信

河をうねりながら ありけり

稀ありしころの紫やまこころん  
菊

毒の候はるる日の久  
紫

時とて多と白紫や花の信  
信

ととあつとと名の川浪  
去泥

信十句  
景南十一

以願十二  
去泥十二

結業十三  
多周十二

連句十一  
既十一

清元十一

信

河をうねりながらかきあがれ

二

江州彦根城主長壽院主湯之軒  
宗因 誠法 花 葉 乃 此 之 袖 之 味 所 亦 當 有 事  
亦 乃 之 乃 此 之 袖 之 味 所 亦 當 有 事

